2024年版

武術套路競技規則

日本武術太極拳連盟 審判委員会

2025 年 6 月

1. 2024年版 武術套路競技規則について

ルールの採用：

・このルールは、JOCジュニアオリンピックカップ大会 武術太極拳競技、及び全日本選手権大会 自選難度競技種目に適用する。

・JOCジュニアオリンピックカップ大会のブロック予選では、このルールの使用を推奨するが、強制するものではなく、各ブロックの実情に合わせ、2005年版、2019年版等の使用を認める。

・このルールに定めのない部分については、2005年版ルールを適用する。

ジュニア大会の年齢規定：

・年齢規定については、大会ごとの要綱に従う。

ジュニア大会の時間規定：

・演技の時間規定については、大会ごとの要綱に従う。

B 組審判員の構成と打点：

・2005年版ルールと同様に、3人のB組審判員と審判長の4人が打点を担当する(小数点以下第2位まで打点)。

・4つの打点の最高点と最低点を除く2つの打点の平均を小数点以下第3位まで計算し (小数点以下第4位切り捨て) 、それを選手の演技レベルの得点とする。

やり直し：

・演技を完成できなかった場合、選手からの申し出があればやり直しを認める。

①地震などの天災、停電、採点システムの故障などの客観的原因：

→当該組或いは種目の最後の選手としてやり直しを認める。減点なし。

②忘却、けが、器械の破損など、選手に起因するやり直し：

→当該組或いは種目の最後の選手としてやり直しを認める。1 点の減点とする。

套路減点：

・国内大会では、従来と同様に套路審判員1～2名を置き、以下の部分を判定する。最終的な減点の是非は審判長が判断する。

・規定の動作が①多い②少ない③改変された場合、1つの動作につき0.2点減点する。

※「改変」とは、実施した規定動作の技術方法が明らかに要求に適合しない場合 (異なる名称の動作を行うなど) を指す。規定動作を行っているが、要求を十分に実施できなかった場合は「改変」とはみなさない。

・数回繰り返して1動作となる動作で、繰り返し回数が規定より少ない或いは多い場合、1回につき0.1点減点する。

・規定の歩数が①多い②少ない場合、1回につき0.1点減点する。

・南拳・南刀・南棍の発声が①規定通りの発声でない②規定より多い③規定より少ない場合、1回の発声につき 0.2点減点する。
・静止姿勢 (平衡動作を除く) の状態で2秒以上静止した場合、1回につき0.1点減点する。
・太極拳、太極剣、太極扇の難度動作前に静止状態が見受けられた場合は0.1点減点する。
・難度動作前に套路のリズムに影響する攻防のない動作があった場合は0.1点減点する。
・長拳、南拳及びその器械種目において、動作が規定の方向と90度以上異なった場合は0.1点減点する。
・太極拳、太極剣、太極扇種目において、動作が規定の方向と45度以上異なった場合は0.1点減点する。
・２組の難度の間に2つ以上の完全な技術動作が行われていなかった場合は0.1点減点する。

2. 動作の質の採点（動作規格の減点内容）

※以下、2.1～2.4 の表で＊のある項目は、日本の競技大会のために設定された内容である。

2.1 長拳、剣術、刀術、槍術、棍術の減点内容とコード

ｶﾃｺﾞﾘｰ	動作名称	減点内容	コード
手型	Quán ・拳	・拳面が平らでない ・親指が人差し指と中指の中節（第1関節と第2関節の間）を押さえてない	**01**
	Zhǎng ・掌	・4本の指が、真っ直ぐに揃えられた状態でない ・親指がしっかり折り曲げられ虎口についてない	**02**
	Gōu Shǒu ・勾手	・5指が揃っていない ・手首がしっかり曲がっていない	**03**
	Jiàn Zhǐ ・剑指	・人差し指と中指が真っ直ぐに揃えられていない ・親指が薬指と小指を押さえていない	**04**
平衡	Bān Jiǎo Cháo Tiān ZhíLì ・搬脚朝天直立 Cè Tī Bào Jiǎo Zhí Lì ・侧踢抱脚直立	・支え脚が曲がる ・挙げた脚が曲がる	**10**
	Yǎng Shēn Píng Héng ・仰身平衡	・前に挙げた脚が水平より低い	**12**
	Shí Zì Píng Héng ・十字平衡	・上体が水平より低い ・支え脚が曲がる	**13**
	Kòu Tuǐ Píng Héng ・扣腿平衡 Pán Tuǐ Píng Héng ・盘腿平衡	・支え脚の大腿部が水平でない	**14**
	Cè Shēn Píng Héng ・侧身平衡 Tàn Hǎi Píng Héng ・探海平衡	・支え脚が曲がる ・後ろに挙げた脚が曲がる	**15**
	Wàng Yuè Píng Héng ・望月平衡	・上体が水平から45度以上高い ・腰を支え脚側にねじって後方を見ていない ・挙げた足の足首から甲にかけて平らに伸ばされていない	**16**
腿法	Qián Sǎo Tuǐ ・前扫腿	・支え脚の大腿部が水平より高い ・払い脚の足裏が回転の際にいったん床に着いた後、床から離れる ・払い脚が45度以上曲がっている	**20**
	Hòu Sǎo Tuǐ ・后扫腿	・払い脚の足裏が床から離れる ・払い脚が45度以上曲がっている	**21**
	Diē Shù Chā ・跌竖叉	・前脚の足首から先が内側に倒れて床に触れる ・前脚と後ろ脚が2本の平行した形にない	**22**
	・弹腿 Tán Tuǐ ・蹬腿 Dēng Tuǐ ・踹腿 Chuài Tuǐ	・曲げた状態から伸ばした状態への蹴り脚の振り幅が、45度より小さい	**23**

	・正踢腿 Zhèng Tī Tuǐ ・側踢腿 Cè Tī Tuǐ	・蹴り上げた時に膝が曲がっている ・支え脚の踵が床から離れる	**24**
	Lǐ Hé Pāi Jiǎo ・里合拍脚 Bǎi Lián Pāi Jiǎo ・摆莲拍脚 Dān Pāi Jiǎo ・单拍脚	・打ち鳴らす脚のつま先が肩の高さを超えない ・打ち鳴らす音が出ない	**25**
	Tí Xī (Dú Lì) ・提膝（独立）	・挙げた脚の膝が腰の高さを超えていない ・挙げた脚の膝から下が内側に向いていない ・挙げた脚の足首から甲にかけて平らに伸ばして内側に収めた状態でない	**26**
跳躍	Téng Kōng Fēi Jiǎo ・腾空飞脚 Téng Kōng Xié Fēi Jiǎo ・腾空斜飞脚 Téng Kōng Shuāng Fēi Jiǎo ・腾空双飞脚 Xuàn Fēng Jiǎo ・旋风脚 Téng Kōng Bǎi Lián ・腾空摆莲	＊空中で足を打ち鳴らしていない ・打ち鳴らす脚のつま先が肩を超えない ・打ち鳴らす音が出ない	**30**
	Téng Kōng Zhèng Tī Tuǐ ・腾空正踢腿	・蹴り脚のつま先が額に触れる、或いは額を蹴り超えた瞬間に下の脚が曲がる ・蹴り脚のつま先が額に触れる、或いは額を蹴り超えた瞬間に上体と下の脚との角度が135度より小さい	**31**
	Cè Kōng Fān ・侧空翻 Cè Kōng Fān Zhuǎn Tǐ 360° ・侧空翻转体 360°	・空中で脚が45度以上曲がっている	**32**
	Xuàn zi ・旋子 Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ ・旋子转体	・(旋子転体) 転体時に上体が水平より45度以上高い ・空中で脚が45度以上曲がっている	**33**
	Téng Kōng Jiàn Tàn ・腾空箭弹 Téng Kōng Dēng Tuǐ ・腾空蹬腿	・曲げた状態から伸ばした状態への蹴り脚の振り幅が45度より小さい ・蹴り出した脚が水平より低い	**34**
歩型	Gōng Bù ・弓步	・前脚の膝が甲の上にない ・前脚の大腿部が水平でない ・後ろ脚の足の裏の一部が明らかに床から離れる ・後ろ脚のつま先が内側に向いていない	**50**

	Mǎ Bù ・马步	・大腿部が水平でない ・両脚の内側部分の間の距離が肩幅より狭い ・膝が内側に入っている ・踵が床から離れている ・つま先が45度以上開いている	**51**
	Xū Bù ・虚步	・座っている脚の大腿部が水平でない ・座っている脚の踵が床から離れる	**52**
	Pū Bù ・仆步	・座っている脚が完全にしゃがんでいない ・伸ばした脚が完全に伸びていない ・伸ばした脚のつま先が内側に向き、足裏が床に着いた状態でない	**53**
	Xiē Bù ・歇步	・両脚が交差し、くっついていない ・臀部がしゃがんでいる脚のふくらはぎの上に座っていない	**54**
	Zuò Pán ・坐盘	・臀部が床に着いていない ・足が床から離れる	**58**
器械方法	・挂剑 Guà Jiàn ・撩剑 Liāo Jiàn	・手首が伸びている ・明らかに立円を描いていない	**60**
	・握剑 Wò Jiàn	・いずれかの指が剣の刃に触れている	**61**
	・缠头 Chán Tóu ・裹脑 Guǒ Nǎo	・刀背が体から離れすぎている	**62**
	・拦枪 Lán Qiāng ・拿枪 Ná Qiāng ・扎枪 Zhā Qiāng	・(拦、拿枪) 槍先が明確な円弧を描いていない ・槍の下端が握っている手より後ろに突き出している ・(平扎枪) 腕と槍が水平で直線になっていない	**63**
	Píng Lūn Gùn ・平抡棍	・明らかに水平に円を描いていない	**64**
	Lì Wǔ Huā Qiāng ・立舞花枪 Lì Wǔ Huā Gùn ・立舞花棍 Shuāng Shǒu Tí Liāo Huā Gùn ・双手提撩花棍	・槍／棍が明らかに立円を描いていない	**65**
	Qì Xiè Pāo Jiē ・器械抛接	・器械を抱いて受け止める ・剣／刀の柄、棍／槍の身 (中間部分) を片手でつかんでいない	**66**

2.1.1 長拳、剣術、刀術、槍術、棍術の減点基準……

●1つの動作中に該当する減点ポイント (ミス) が2つ以上あっても、1動作のミスとして0.1点減点する。

●1組の動作中に同一の器械方法の減点ポイント (ミス) が2つ以上あっても、1動作のミスとして0.1点減点する。

●明確な立円でない／明確な水平の円でないとは、剣／棍／槍の先端が垂直／水平面から45度以上離れて回されていることを指す。

2.2 南拳、南刀、南棍の減点内容とコード

ｶﾃｺﾞﾘｰ	動作名称	減点内容	コード
手型	Quán ・拳	・拳面が平らでない ・親指が人差し指と中指の中節 (第1関節と第2関節の間) を押さえてない	**01**
	Hǔ Zhǎo ・虎爪	・5指の第1関節と第2関節が曲がり、離れるよう開かれていない ・手のひらが押し出されていない	**02**
	Hè Zuǐ (Dǐng) Shǒu ・鹤嘴（顶）手	・5指が揃っていない ・打ち出す時に手首が曲がっている	**03**
	Dān Zhǐ Zhǎng (Shǒu) ・单指掌（手）	・人差し指が真っ直ぐでない ・他の4指がしっかり曲がっていない	**04**
腿法	Qián Sǎo Tuǐ ・前扫腿	・支え脚の大腿部が水平より高い ・払い脚の足裏が回転の際にいったん床に着いた後、床から離れる ・払い脚が45度以上曲がっている	**20**
	・横踩腿 Héng Cǎi Tuǐ ・蹬腿 Dēng Tuǐ ・虎尾腿 Hǔ Wěi Tuǐ	・曲げた状態から伸ばした状態への蹴り脚の振り幅が、45度より小さい	**23**
	Zhuǎn Shēn Hòu Bǎi Tuǐ ・转身后摆腿	・蹴り脚が曲がっている ・蹴り足のつま先が腰の高さを超えない	**25**
	Tí Xī (Dú Lì) ・提膝（独立）	・挙げた脚の膝が腰の高さを超えていない ・挙げた脚の膝から下が内側に向いていない ・挙げた脚の足首から甲にかけて平らに伸ばして内側に収めた状態でない	**26**
	Héng Dīng Tuǐ ・横钉腿	・曲げた状態から伸ばした状態への蹴り脚の振り幅が、45度より小さい ・蹴る脚が、蹴る足の反対の体側に向けて横方向に蹴られていない ・蹴り脚のつま先が手前に引き込まれていない	**27**
跳躍	Téng Kōng Fēi Jiǎo ・腾空飞脚 Xuàn Fēng Jiǎo ・旋风脚 Téng Kōng Wài Bǎi Lián ・腾空外摆腿	＊空中で足を打ち鳴らしていない ・打ち鳴らす脚のつま先が肩を超えない ・打ち鳴らしの音が出ない (腾空外摆腿は蹴り足をたたかなくてもよい)	**30**
	Cè Kōng Fān ・侧空翻	・空中で脚が45度以上曲がっている	**32**
滚翻	TéngKōng PánTuǐ 360° CèPū ・腾空盘腿360°侧扑	＊空中で足を蹴り回していない ・蹴り脚のつま先が頭の高さを超えない	**40**
	Téng Kōng Shuāng Cè Chuài ・腾空双侧踹	・蹴り出した時に両脚を揃えて伸ばしていない	**42**

歩型	Gōng Bù ・弓步	・前脚の大腿部が水平より低い、或いは水平から45度以上高い ・後ろ脚のつま先が内側に向いていない ・後ろ脚の足の裏の一部が明らかに床から離れる	**50**
	Mǎ Bù ・马步	・大腿部が水平より低い、或いは水平から45度以上高い ・両脚の内側部分の間の距離が肩幅より狭い ・膝が内側に入っている ・踵が床から離れている	**51**
	Xū Bù ・虚步	・座っている脚の大腿部が水平より低い、或いは水平から45度以上高い ・座っている脚の踵が床から離れている	**52**
	Pū Bù ・仆步	・座っている脚が完全にしゃがんでいない ・伸ばした脚が完全に伸びていない ・伸ばした脚のつま先が内側に向き、足裏が床に着いた状態でない	**53**
	Dié Bù ・蝶步	・後ろ脚の膝から下の内側が、床に着いていない ・後ろ脚の内側のくるぶしが、床に着いていない	**55**
	Guì Bù ・跪步	・後ろ脚の膝が床に触れている ・臀部が後ろ脚のふくらはぎの上に座っていない	**56**
	Qí Lóng Bù ・骑龙步	・前脚の大腿部が水平より低い、或いは水平から45度以上高い ・後ろ足の膝が床に触れている	**57**
器械方法	Chán Tóu ・缠头 Guǒ Nǎo ・裹脑	・刀背が体から離れすぎている	**62**
	Dǐng Gùn ・顶棍	・棍の下端が床に着いていない ・棍の先端が頭部より低い	**67**

2.2.1 南拳、南刀、南棍の減点基準……

●1つの動作中に該当する減点ポイント (ミス) が2つ以上あっても、1動作のミスとして0.1点減点する。

●1組の動作中に同一の器械方法の減点ポイント (ミス) が2つ以上あっても、1動作のミスとして0.1点減点する。

＊鯉魚打挺で跳ね起きる際に、手を補助として使った場合や跳ね起きずに背中で転がって起き上がった場合は、要求されている身体の部位以外を使っているため、「**71** 附加して支える」を適用して0.2点の減点とする。跳ね起きた後に足が動く、跳ぶ、手を着く、臀部が床に着くなどは、通常のバランスミスであり、それぞれの状況に応じて減点する。

2.3 太極拳、太極剣、太極扇の減点内容とコード

ｶﾃｺﾞﾘｰ	動作名称	減点内容	コード
手型/ 手法/ 身型	Quán ・拳	・拳面が平らでない ・親指が人差し指と中指の中節 (第1関節と第2関節の間) を押さえてない	**01**
	Zhǎng ・掌	・指が揃っている (特殊な手法を除く) ・指がまっすぐ伸びている (特殊な手法を除く) ・虎口が丸みを帯びていない (特殊な手法を除く) ・掌心が引き込まれて丸みを帯びた状態でない (特殊な手法を除く)	**02**
	Jiàn Zhǐ ・剣指	・人差し指と中指が真っ直ぐに揃えられた状態でない ・親指が薬指と小指を押さえてない	**04**
	Shǒu Fǎ ・手法	・肘が上がっている ・腕が伸びきっている ・脇の下がつまっている	**05**
	Shēn Xíng ・身型	・頭、体が真っ直ぐでない ・背が丸まり、腰を反らし、臀部が後ろに突き出ている ・肩がすくんでいる ・腰がねじれ、臀部が横に突き出ている	**06**
平衡	Dī Shì Qián Dēng Cǎi Jiǎo Píng Héng ・低势前蹬踩脚平衡	・支え脚の踵が床から離れる ・前に蹴り出す脚の膝が曲がっている ・前に蹴り出す脚のつま先が外を向いていない	**17**
	Qián Jǔ Tuǐ Dī Shì Píng Héng ・前举腿低势平衡	・しゃがむ過程で前に挙げた脚が曲がる、或いは水平より低い	**18**
	Hòu Chā Tuǐ Dī Shì Píng Héng ・后插腿低势平衡	・支え脚の後ろに差し込んだ足が床に触れる	**19**
腿法	Diē Chā ・跌叉	・前脚の足首から下が内側に倒れて床に触れる ・両脚の大腿部の間の角度が45度より小さい	**22**
	・分脚 Fēn Jiǎo ・蹬脚 Dēng Jiǎo	・挙げた足の膝が曲がっている ・挙げた足が水平より低い	**23**
	Bǎi Lián Pāi Jiǎo ・摆莲拍脚 Dān Pāi Jiǎo ・单拍脚	＊摆莲拍脚で蹴り足が弧を描いていない ・打ち鳴らす時、蹴り脚が曲がっている ・打ち鳴らしの音が出ない	**25**
	・提膝（独立) Tí Xī (Dú Lì)	・挙げた脚の膝が腰の高さを超えていない	**26**
跳躍	Téng Kōng Fēi Jiǎo ・腾空飞脚 Xuàn Fēng Jiǎo ・旋风脚 Téng Kōng Bǎi Lián ・腾空摆莲	＊空中で足を打ち鳴らしていない ・打ち鳴らす脚のつま先が肩を超えない ・打ち鳴らしの音が出ない	**30**
	Téng Kōng Zhèng Tī Tuǐ ・腾空正踢腿	・蹴り脚のつま先が額に触れる、或いは蹴り超えた瞬間に下の脚が曲がる ・蹴り脚のつま先が額に触れる、或いは蹴り超えた瞬間に上体と下の脚の角度が135度より小さい	**31**

歩型	Gōng Bù ・弓步	・前脚の膝が足の甲に達していない、或いはつま先より前に出ている ・前脚の大腿部が水平より低い、或いは水平から45 度以上高い ・後ろ脚の足の裏の一部が明らかに床から離れる ・後ろ脚のつま先が内側に向いていない ・後ろ脚の膝が明らかに曲がっている	**50**
	Mǎ Bù ・马步	・大腿部が水平より低い、或いは水平から45度以上高い ・膝が内側に入っている	**51**
	Xū Bù ・虚步	・前脚の踵が床に触れている ・座っている脚の膝とつま先の方向が合っていない	**52**
	Pū Bù ・仆步	・座っている脚が完全にしゃがんでいない ・伸ばした脚が完全に伸びていない ・伸ばした脚のつま先が内側に向き、足裏が床に着いた状態でない	**53**
	・上步 Shàng Bù ・退步 TuìBù ・进步 Jìn Bù ・跟步 Gēn Bù ・侧行步 Cè Xíng Bù	・支え脚の膝とつま先の方向が合っていない ・足をひきずる (特殊な動作は除く) ・移動時に重心が起伏する ・上步時に持ち上げる足のつま先がくるぶしより高い	**59**
器械方法	・挂剑 Guà Jiàn ・撩剑 Liāo Jiàn ・挂扇 Guà Shàn ・撩扇 Liāo Shàn	・手首が伸びている ・明らかに立円を描いていない	**60**
	・握剑 Wò Jiàn ・开扇 Kāi Shàn ・合扇 Hé Shàn	・いずれかの指が剣の刃に触れている ・開扇の際に、扇骨の底部を握って扇面を完全に開けず、扇の親骨 (外側の骨) と腕が一直線になっていない ・合扇の際に、扇の2本の親骨が重なっていない	**61**
	・刺扇 Cì Shàn ・劈扇 Pī Shàn	・腕と扇骨が一直線になっていない	**63**
	・抛接扇 Pāo Jiē Shàn	・片手で扇骨の底部を受け止められない	**66**
	・绞剑 Jiǎo Jiàn	・剣先が明確な円を描いていない	**68**
	・点扇 Diǎn Shàn	・手首が明らかに上に引き上げられていない	**69**

2.3.1 太極拳、太極剣、太極扇の減点基準……

●1つの動作中に該当する動作の減点ポイント (ミス) が2つ以上あっても、1動作として0.1点減点する。

●1組の動作中に同一の器械方法の減点ポイント (ミス) が2つ以上あっても、1動作のミスとして0.1点減点する。

●1組の動作中に該当する歩法の減点ポイント (ミス) が2つ以上あっても、1動作のミスとして0.1点減点する。

●1套路において 拳、掌、剣指、手法、身型のミスの減点は、それぞれ最大0.3点とする。
この減点について、A組の各審判員はミスが出るたびに減点し、採点システム上で最大0.3点を集計して減点する。(採点システムがなければ記録員が計算する)

●「支え脚の膝とつま先の方向が合っていない」とは、支え脚の膝が支え脚の足の内側を越えて内側に入ることを指す。

2.4 その他のミスのカテゴリー、減点内容、減点基準及びコード

カテゴリー	減点内容と基準	コード
バランスをくずす	・上体がゆれる（-0.05）	**70A**
	・足が移動する、跳ねる（-0.1）	**70B**
	・附加して支える（-0.2）	**71**
	・倒れる（-0.3）	**72**
器械、服飾	・器械や身体の一部が、意図せず床に触れる（-0.1） ・器械の握りそこない（-0.1） ・器械が身体に当たる（-0.1） ・器械が変形する（-0.1） ・扇面と扇骨がはがれて離れる（-0.1）	**73**
	・器械が壊れる（-0.2） ・扇の親骨または中骨が折れる（-0.2） ・扇の要(釘)が抜け落ちる（-0.2）	**74**
	・器械を床に落とす（-0.3）	**75**
	・刀彩、剣穂、槍纓、服飾、頭の飾りが床に落ちる（-0.1） ・刀彩、剣穂、軟器械が手（身体）に巻きつく（-0.1） ・服が破けるあるいはボタンがはずれる（-0.1） ・靴が脱げる（-0.1）	**76**
その他	・平衡動作が種目の特性に合って素早く完成されていない（-0.1） ・持久性平衡の静止時間不足 (2秒以上)（-0.1）	**77**
	・ラインアウト（-0.1）	**78**
	・忘却（-0.1）	**79**

2.4.1 その他のミスに関する定義……

●ゆれる：身体が平衡を失い、上体が双方向或いは多方向に揺れる。

●移動：両足、片足或いは片足ともう一方の脚 (大腿或いは下腿) とで立っている時、いずれかの足の変位を指す。

●跳ねる：支え足 (片足或いは両足) が床から離れて跳んだ (ホップした) 場合、「跳ねた」とみなす。

●附加して支える：選手の演技中、動いている時でも静止している時でも、バランスをくずして手、肘、膝、支え足でない足 (片足で立つ姿勢をとっている間) 、器械で支えた場合、「附加して支えた」とみなす。(注：徒手、器械各種目の演技動作の途中で手や器械が床に触れた時、力がかかっていない〔支えていない〕場合は、附加とはみなさず、「身体の一部や器械が、意図せず床に触れる」とみなし、**73**で減点する。)

●倒れる：選手の演技中、動いている時でも静止している時でも、バランスをくずして 頭、腕、肩、体幹部、臀部、或いは身体の２カ所以上の部分が同時に床に触れた場合、或いは身体のいずれかの部分が床に着くと同時に器械で支えた場合、「倒れた」とみなす。(注：一部の伝統種目や対練などで、意図的に床に床にに倒れる演技は、「倒れた」とはみなさず減点しない。)
●器械が身体に当たる：動作の過程で器械が身体の一部に触れた場合、「器械が当たる」とみなす。(注：要求として、器械を身体に当てるべき特定動作に対しては減点しない。)
●器械の変形：器械が本来の形状から 45度以上曲がることを指す。(注：国内競技におけるアルミ等合金製の剣や刀などを使用する種目では、演技中の器械の変形や切断に関する減点についての特別ルールがあるので、「補助ルール 2024」を参照のこと。)
●ラインアウト：選手の演技中、コートのライン外の床に身体の一部が触れた場合、「ラインアウト」とみなす。ただし身体が床に触れていない状況でコートの外に出た場合や、器械がコート外の床に触れても「ラインアウト」とはみなさない。
●持久性平衡の静止時間：計時は最初に静止状態が現れた時から開始する。これは長拳、剣術、刀術、槍術、棍術のみに適用される。
●忘却：選手の演技中、あるはずのない停止や中断がある、或いは動作が混乱した場合、「忘却」とみなす。
●１つの動作中、その他のミス (**70～79**) が２つ以上現れた場合、累積して減点する。
●以上の「その他のミス」は、ミスをした人数分累積して減点する (ペア、集団、対練など複数人での演技に適用) 。

3. 演技レベルの等級と配点基準

レベル	級	配点	採点の根拠
良い	①級	3.00－2.91	動作が規範に合い、方法が正確で、勁力が十分あり、力の使い方に無理がなく、力点が正確で、手眼身法歩や身体・器械が協調しており、リズムがはっきりし、風格が際だち、動作と音楽の調和がとれて一致しているものを「良い」とする
	②級	2.90－2.71	
	③級	2.70－2.51	
普通	④級	2.50－2.31	動作が比較的規範に合い、方法が比較的正確で、勁力が比較的あり、力の使い方に比較的無理がなく、力点が比較的正確で、手眼身法歩や身体・器械が比較的協調しており、リズムが比較的はっきりし、風格が比較的際だち、動作と音楽の調和が比較的とれて一致しているものを「普通」とする
	⑤級	2.30－2.11	
	⑥級	2.10－1.91	
良くない	⑦級	1.90－1.61	動作が規範に合わず、方法が不正確で、勁力が不十分で、力の使い方に無理が見られ、力点が不正確で、手眼身法歩や身体・器械が協調しておらず、リズムがはっきりせず、風格が出ておらず、動作と音楽の調和がとれておらず一致していないものを「良くない」とする
	⑧級	1.60－1.31	
	⑨級	1.30－1.01	

4. 難度動作の内容と判定基準

※動作難度の点はAが0.2点、Bが0.3点、Cが0.4点。連接難度の点は、コードの後ろの (　) 内に示す。
連接 (＋) の後ろの丸付き数字は、連接時に許容される歩数を示す。

4.1 長拳、剣術、刀術、槍術、棍術

4.1.1 加点するかどうかの判定基準

難度	カテゴリー	動作	規定に合わない (加点しない)
動作難度	平衡	Bān Tuǐ Cháo Tiān Zhí Lì ・搬腿朝天直立 **111A** Cè Tī Bào Jiǎo Zhí Lì ・側踢抱脚直立 **112A** Shí Zì Píng Héng ・十字平衡 **133B**	・上げた脚が垂直になっていない
		Yǎng Shēn Píng Héng ・仰身平衡 **123A**	・上体が水平から45°以上高い
		Tàn Hǎi Píng Héng ・探海平衡 **153A**	・両脚の間の角度が135°より小さい
		Wàng Yuè Píng Héng ・望月平衡 **163A**	・後ろ脚 (上げた脚) の大腿部が水平から45°より低い
	腿法	Qián Sǎo Tuǐ 540°, 900° ・直身前扫540°, 900° **244A, 244B**	・回転の度数が不足している
	跳躍	Téng Kōng Zhèng Tī Tuǐ ・腾空正踢腿 **312B**	・助走が4歩を超える ・動作が空中で行われていない ・蹴り上げた脚のつま先が額に触れていない、もしくは額を超えていない
		Téng Kōng Fēi Jiǎo ・腾空飞脚 **312A** Téng Kōng Xié Fēi Jiǎo ・腾空斜飞脚 **312A** Téng Kōng Shuāng Fēi Jiǎo ・腾空双飞脚 **312A**	・助走が4歩を超える ・動作が空中で行われていない ・蹴り上げた脚が水平より低い
		Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°, 630°(F)/720° ・旋风脚360°, 540°, 630°(女子)/720° **323A, 323B, 323C** Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 540°, 630°(F)/720° ・腾空摆莲360°, 540°, 630°(女子)/720° **324A, 324B, 324C**	・助走が4歩を超える ・動作が空中で行われていない ・回転の度数が不足している ・蹴り上げた脚が水平より低い
		・旋子 **333A** Xuàn Zi ・侧空翻 **335A** Cè Kōng Fān	・助走が4歩を超える ・動作が空中で行われていない
		Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 360°, 720° ・旋子转体360°, 720° **353B, 353C** Cè Kōng Fān Zhuǎn Tǐ 360° ・侧空翻转体360° **355B**	・助走が4歩を超える ・動作が空中で行われていない ・回転の度数が不足している

連接難度	動＋動連接	Téng Kōng Fēi Jiǎo+Téng Kōng Bǎi Lián 540°, 630°(F)/720° ・腾空飞脚+腾空摆莲540°,630°(女子)/720° **312A＋324B**(0.15)**, 312A＋324C**(0.2) Xuàn Fēng Jiǎo 360°＋Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 540° ・旋风脚360°+腾空摆莲360°, 540° **323A＋324A**(0.1)**, 323A＋324B**(0.15) Xuàn Fēng Jiǎo 540°＋Téng Kōng Bǎi Lián 540°, 630°(F)/720° ・旋风脚540°+腾空摆莲540°, 630°(女子)/720° **323B＋324B**(0.2)**, 323B＋324C**(0.25)	・2つの跳躍動作の間で助走をする
		Téng Kōng Fēi Jiǎo+Cè Kōng Fān ・腾空飞脚+侧空翻 **312A+①335A**(0.15) Xuàn Zǐ＋Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 360° ・旋子＋旋子转体360° **333A+①353B**(0.1)	・跳躍間の助走が1歩を超えている
		Téng Kōng Fēi Jiǎo+ Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540° ・腾空飞脚+旋风脚360°, 540° **312A+②323A**(0.1)**, 312A＋②323B**(0.15) Téng Kōng Fēi Jiǎo+ Téng Kōng Bǎi Lián 360° ・腾空飞脚＋腾空摆莲360° **312A+②324A**(0.1)	・跳躍間の助走が2歩を超えている
		Téng Kōng Fēi Jiǎo+ Xuàn Fēng Jiǎo 630°(F)/720° ・腾空飞脚+旋风脚630°(女子)/720° **312A+④323C**(0.2) Téng Kōng Fēi Jiǎo+ Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 360°, 720° ・腾空飞脚+旋子转体360°, 720° **312A+④353B**(0.1)**, 312A＋④353C**(0.2) Xuàn Fēng Jiǎo 360°+Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 360°, 720° ・旋风脚360°+旋子转体360°,720° **323A+④353B**(0.1)**, 323A＋④353C**(0.2) Xuàn Zǐ＋ Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 720° ・旋子＋旋子转体720° **333A+④353C**(0.2) Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 360°+Xuàn Fēng Jiǎo 540°, 630°(F)/720° ・旋子转体360°＋旋风脚540°, 630°(女子)/720° **353B＋④323B**(0.15)**, 353B＋④323C**(0.2) Cè Kōng Fān ＋Xuàn Fēng Jiǎo 540°, 630°(F)/720° ・侧空翻＋旋风脚540°, 630°(女子)/720° **335A＋④323B**(0.15)**, 335A＋④323C**(0.2) Cè Kōng Fān ＋Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 360°,720° ・侧空翻＋旋子转体360°,720° **335A＋④353B**(0.1)**, 335A＋④353C**(0.2)	・跳躍間の助走が4歩を超えている
		Xuàn Zi+Qián Sǎo Tuǐ 540° ・旋子+前扫腿540° **333A+244A**(0.15)	・2つの動作の間に明らかな停止がある

	動＋静 連接	Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°, 630°(F)/720°+ Mǎ Bù ・旋风脚360°, 540°, 630°(女子)/720°+马步 **323A+1**(0.1)**, 323B+1**(0.15)**, 323C+1**(0.2) Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 540°, 630°(F)/720° + Mǎ Bù ・腾空摆莲360°, 540°, 630°(女子)/720°+马步 **324A+1**(0.1)**, 324B+1**(0.15)**, 324C+1**(0.25) Téng Kōng Bǎi Lián360°+Gōng Bù ・腾空摆莲360°+弓步 **324A+7**(0.1) Téng Kōng Bǎi Lián 540°+ Pū Bù ・腾空摆莲540°+仆步 **324B+0**(0.2)	・着地のとき、両脚が同時につかない ・着地した脚が移動したり、跳んだりする ・附加して支える ・倒れる
		Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°, 630°(F)/720°+ Diē Shù Chā ・旋风脚360°, 540°, 630°(女子)/720°+跌竖叉 **323A+4**(0.1)**, 323B+4**(0.15)**, 323C+4**(0.25) Téng Kōng Bǎi Lián 360°+Diē Shù Chā ・腾空摆莲360°+跌竖叉 **324A+4**(0.1) Xuàn Zǐ Zhuǎn Tǐ 360°, 720°+ Diē Shù Chā ・旋子转体360°,720°+跌竖叉 **353B+4**(0.15)**, 353C+4**(0.25) Cè Kōng Fān + Diē Shù Chā ・侧空翻+跌竖叉 **335A+4**(0.1)	・着地のとき、両脚が同時につかない ・着地後、脚を滑らせて竖叉する ・附加して支える ・倒れる
		Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°+Tí Xī Dú Lì ・旋风脚360°, 540°+提膝独立 **323A+3(**0.15)**, 323B+3**(0.2) Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 540°+Tí Xī Dú Lì ・腾空摆莲360°, 540°+提膝独立 **324A+3**(0.15)**, 324B+3**(0.2)	・打ち鳴らした脚が単独で着地しない ・着地した脚が移動したり、跳んだりする ・提膝する脚が床に触れる
		Téng Kōng Fēi Jiǎo+ Zuò Pán ・腾空飞脚+坐盘 **312A+6**(0.1) Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°, 630°(F)/720°+ Zuò Pán ・旋风脚360°, 540°, 630°(女子)/720°+坐盘 **323A+6**(0.1)**, 323B+6**(0.15)**, 323C+6**(0.2) Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 540°, 630°(F)/720°+ Zuò Pán ・腾空摆莲360°, 540°, 630°(女子)/720°+坐盘 **324A+6**(0.1)**, 324B+6(**0.15)**, 324C+6**(0.2) Xuàn Zi ＋Zuò Pán ・旋子+坐盘 **333A+6**(0.1) Qián Sǎo Tuǐ 540°+ Zuò Pán ・前扫腿540°+ 坐盘 **244A+6**(0.1)	・2つの動作の間に明らかな停止がある ・両脚の大腿部が交差していない ・附加して支える ・倒れる
	投＋受 連接	Pāo+ Qiǎng Bèi+ Jiē ・抛+抢背+接 **445A+9**(0.1) Téng Kōng Fēi Jiǎo+ Jiē ・腾空飞脚+接 **312A+9**(0.1) Xuàn Fēng Jiǎo 360°+ Jiē ・旋风脚360°+接 **323A+9**(0.15) Téng Kōng Bǎi Lián 360°+ Jiē	・抢背の後、手・臀部・膝が床から離れていない ・器械をつかめない、或いは刀彩や剣穂をつかむ

		・腾空摆莲360°+接 **324A+9**(0.15)	

4.1.2 長拳、剣術、刀術、槍術、棍術に関する難度動作の規定……

4.1.2.1 回転度数の規定

・回転する跳躍で、両脚着地する場合、もしくは回転する跳躍の着地で弓歩、马步、仆步、跌竪叉につなげる場合、踏み切り時の両脚を結んだ線と着地時の両脚を結んだ線の作る角度によって回転度数を計算する。

・回転する跳躍で、片脚で着地する場合、踏み切り脚と着地した脚それぞれのつま先と踵を結んだ２本の線の作る角度によって回転度数を計算する。

・掃転性腿法の回転度数は、まわす脚の始まりから終わりまでの度数で計算する。

4.1.2.2 助走の規定

・跳躍動作の踏み切りの前に１方向 (弧も含まれる) に走る時、その最初に踏み出した脚から計算し、片脚が床につくたびに助走として計算する。

・跳躍動作間の連接歩数は、前の跳躍で片脚もしくは両脚が着地した後に踏み出した脚から計算する。

・動＋動連接の跳躍動作のうち、**4.**1.1の表に連接の歩数が丸付き数字で明記されていないものは、すべて前の跳躍動作で両足が同時に着地した後、そのままジャンプする。

4.1.2.3 連接難度の規定

・連接難度動作は表中の規定の内容を選ばなければならない。

・動＋静連接難度動作は必ず静止状態にならなければならない、かつ手法或いは器械の方法 (長拳類の主要動作の中から選択する) が明確であること。

・器械套路では、投げ・受け連接は１套路に１回しか選択できない。

4.1.2.4 判定に関する規定

・動作難度が成功しなかった場合、その動作に連接される前・後の連接難度は認定されない。

・実施された連接動作が登録されたものと異なる場合、動作難度・連接難度とも認定されない。

・片脚で着地する場合、打ち鳴らす脚 (踏み切り脚) と着地する脚が同じであること。

・器械で支えて平衡の難度動作を実施した場合、難度は認定されない。

・１組の動＋静連接難度を行った後は、必ず2つ以上の完全な技術動作を完成させた後に、次の難度動作につなげることができる。

4.2 南拳、南刀、南棍

4.2.1 加点するかどうかの判定基準

難度	カテゴリー	動作	規定に合わない (加点しない)
動作難度	腿法	Qián Sǎo Tuǐ 540° ・前扫腿540° **244A** Qián Sǎo Tuǐ 900° ・前扫腿900° **244B**	・回転の度数が不足している
	跳躍	Téng Kōng Fēi Jiǎo ・腾空飞脚 **312A**	・助走が4歩を超える ・動作が空中で行われていない ・蹴り上げた脚が水平の高さを超えていない
		Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°, 630°(F)/720° ・旋风脚360°,540°,630°(女子)/720° **323A, 323B, 323C** Téng Kōng Wài Bǎi Tuǐ 360°, 540°, 630°(F)/720° ・腾空外摆腿360°,540°,630°(女子)/720° **324A, 324B, 324C**	・助走が4歩を超える ・動作が空中で行われていない ・回転の度数が不足している ・打ち鳴らす脚 (外摆) が水平の高さを超えていない
		Cè Kōng Fān ・侧空翻 **335A**	・助走が2歩を超える ・動作が空中で行われていない
		Yuán Dì Hòu Kōng Fān ・原地后空翻 **346A**	・踏み切る前に脚が元の位置から動く ・着地の際に手で支える
		Dān Tiào Hòu Kōng Fān ・单跳后空翻 **346B**	・助走が2歩を超える ・着地の際に手で支える
	跌扑	Téng Kōng Shuāng Cè Chuài ・腾空双侧踹 **415A**	・助走が4歩を超える ・蹴り出した脚が水平の高さを超えていない
		Téng Kōng Pán Tuǐ 360° Cè Pū ・腾空盘腿360°侧扑 **423A**	・助走が4歩を超える ・回転の度数が不足している
		Lǐ Yú Dǎ Tǐng ・鲤鱼打挺 **447A**	・手で床を支えたり、手を補助として使う

連接難度	動+動連接	Xuàn Fēng Jiǎo 360°＋Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 540° ・旋风脚360°+腾空摆莲360°, 540° **323A＋324A**(0.1)**, 323A＋324B**(0.15) Xuàn Fēng Jiǎo 540°＋Téng Kōng Bǎi Lián 540°, 630°(F)/720° ・旋风脚540°+腾空摆莲540°, 630°(女子)/720° **323B＋324B**(0.2)**, 323B＋324C**(0.25) Téng Kōng Wài Bǎi Lián 360°＋Yuán Dì Hòu Kōng Fān ・腾空外摆莲360°＋原地后空翻 **324A＋346A**(0.1)	・2つの跳躍動作の間で助走をする
		Téng Kōng Fēi Jiǎo＋Dān Tiào Hòu Kōng Fān ・腾空飞脚＋单跳后空翻 **312A＋②346B**(0.15) Xuàn Fēng Jiǎo 360°+Téng Kōng Fēi Jiǎo ・旋风脚360°+腾空飞脚 **323A+②312A**(0.1) Xuàn Fēng Jiǎo 360°+ Dān Tiào Hòu Kōng Fān ・旋风脚360°+单跳后空翻 **323A+②346B**(0.2) Téng Kōng Wài Bǎi Lián 360°,540°＋Dān Tiào Hòu Kōng Fān ・腾空外摆莲360°, 540°＋单跳后空翻 **324A+②346B**(0.1)**, 324B+②346B**(0.2)	・跳躍間の助走が2歩を超えている
	動+静連接	Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°, 630°(F)/720°+ Mǎ Bù ・旋风脚360°, 540°, 630°(女子)/720°+马步 **323A+1**(0.1)**, 323B+1**(0.15)**, 323C+1**(0.25) Téng Kōng Wài Bǎi Tuǐ 360°, 540°, 630°(F)/720°＋Mǎ Bù ・腾空外摆腿360°, 540°, 630°(女子)/720°+马步 **324A+1**(0.1)**, 324B+1**(0.15)**, 324C+1**(0.25) Téng Kōng Wài Bǎi Tuǐ 540°+ Pū Bù ・腾空外摆腿540°+仆步 **324B+0**(0.2)	・着地のとき、両脚が同時につかない ・脚が移動したり跳んだりする ・附加して支える ・倒れる
		Xuàn Fēng Jiǎo 360°, 540°+Dié Bù ・旋风脚360°, 540°+蝶步 **323A+2**(0.1)**, 323B+2**(0.15) Yuán Dì Hòu Kōng Fān+Dié Bù ・原地后空翻+蝶步 **346A+2**(0.1) Dān Tiào Hòu Kōng Fān+Dié Bù ・单跳后空翻+蝶步 **346B+2**(0.15) Lǐ Yú Dǎ Tǐng+Dié Bù ・鲤鱼打挺+蝶步 **447A+2**(0.15)	・着地のとき、脚が同時につかない ・着地した後に蝶步になる ・脚が移動したり跳んだりする ・附加して支える ・倒れる
		Téng Kōng Fēi Jiǎo+Tí Xī Dú Lì ・腾空飞脚+提膝独立 **312A+3**(0.1) Xuàn Fēng Jiǎo 360°+Tí Xī Dú Lì ・旋风脚360°+提膝独立 **323A+3**(0.2) Téng Kōng Wài Bǎi Tuǐ 360°+Tí Xī Dú Lì ・腾空外摆腿360°+提膝独立 **324A+3**(0.2)	・打ち鳴らす脚 (外摆)が単独で着地しない ・脚が移動したり跳んだりする ・提膝する脚が床に触れる

		Cè Kōng Fān+Jiǎn Shì ・側空翻+剪势 **335A+10**(0.1)	・着地のとき、脚が同時につかない ・附加して支える ・倒れる
		Dān Tiào Hòu Kōng Fān+Xiē Shì ・単跳后空翻+蝎势 **346B+11**(0.2)	・着地のとき、手と脚が同時につかない ・後ろに上げた脚が床に触れる ・附加して支える ・倒れる

4.2.2 南拳、南刀、南棍に関連する難度動作の規定

4.2.2.1 回転度数の規定

・回転する跳躍で、両脚着地する場合、もしくは回転する跳躍の着地で歩型につなげる場合、踏み切り時の両脚を結んだ線と着地時の両脚を結んだ線の作る角度によって回転度数を計算する。

・回転する跳躍で、片脚で着地する場合、踏み切り脚と着地した脚それぞれのつま先と踵を結んだ２本の線の作る角度によって回転度数を計算する。

・掃転性腿法の回転度数は、まわす脚の始まりから終わりまでの度数で計算する。

4.2.2.2 助走の規定

・跳躍動作の踏み切りの前に１方向 (弧も含まれる) に走る時、その最初に踏み出した脚から計算し、片脚が床につくたびに助走として計算する。

・跳躍動作間の連接歩数は、前の跳躍で片脚もしくは両脚が着地した後に踏み出した脚から計算する。

・動＋動連接の跳躍動作のうち、**4.**2.1の表に連接の歩数が丸付き数字で明記されていないものは、すべて前の跳躍動作で両足が同時に着地した後、そのままジャンプする。

4.2.2.3 連接難度の規定

・連接難度動作は表中の規定の内容を選ばなければならない。

・動＋静連接難度動作は必ず静止状態にならなければならない、かつ手法或いは器械の方法 (南拳類の主要動作の中から選択する) が明確であること。

4.2.2.4 判定に関する規定

・動作難度が成功しなかった場合、その動作に連接される前・後の連接難度は認定されない。

・実施された連接動作が登録されたものと異なる場合、動作難度・連接難度とも認定されない。

・片脚で着地する場合、打ち鳴らす脚 (踏み切り脚) と着地する脚が同じであること。

・324A、324B、324C (腾空摆莲) は打ち鳴らしがなくてもよい。

・１組の動＋静連接難度を行った後は、必ず2つ以上の完全な技術動作を完成させた後に、次の難度動作につなげることができる。

4.3 太極拳、太極剣、太極扇

4.3.1 加点するかどうかの判定基準

難度	カテゴリー	動作	規定に合わない (加点しない)
動作難度	平衡	Dī Shì Qián Dēng Cǎi Jiǎo Píng Héng ・低势前蹬踩脚平衡 **142A**	・支えている脚の大腿が水平より高い ・蹴り足を曲げてから伸ばしていない ・前に蹴った脚が床に触れる
		Qián Jǔ Tuǐ Dī Shì Píng Héng ・前举腿低势平衡 **143A** Hòu Chā Tuǐ Dī Shì Píng Héng ・后插腿低势平衡 **143B**	・支えている脚の大腿が水平より高い ・手で支え脚を支える
	腿法	・分脚 **212A** Fēn Jiǎo ・蹬脚 **212A** Dēng Jiǎo	・上に上げた脚の踵が肩より低い
	跳躍	Téng Kōng Fēi Jiǎo ・腾空飞脚 **312A**	・助走が1歩を超える ・動作が空中で行われていない ・蹴り上げた脚が水平の高さを超えていない
		Téng Kōng Zhèng Tī Tuǐ ・腾空正踢腿 **312B**	・助走が1歩を超える ・動作が空中で行われていない ・蹴り上げた脚のつま先が額に触れていない、或いは額を超えていない
		Xuàn Fēng Jiǎo 180°, 360°, 450°(F)/540° ・旋风脚 180°, 360°, 450°(女子)/540° **323A, 323B, 323C** Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 450°(F)/540° ・腾空摆莲360°, 450°(女子)/540° **324B, 324C**	・助走が1歩を超える ・動作が空中で行われていない ・回転の度数が不足している ・蹴り上げた脚が水平の高さを超えていない
連接難度	動+動連接	Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 450°(F)/540° ・腾空飞脚+腾空摆莲 360°, 450°(女子)/540° **312A+324B**(0.1)**,312A+324C**(0.15)	・2つの跳躍動作の間で助走をする
	動+静連接	Téng Kōng Zhèng Tī Tuǐ+Qi Tiào Jiǎo Luò Dì ・腾空正踢腿＋起跳脚落地 **312B+8**(0.15) Xuàn Fēng Jiǎo 360°+Qi Tiào Jiǎo Luò Dì ・旋风脚360°＋起跳脚落地 **323B+8**(0.1) Téng Kōng Bǎi Lián 360°+Qi Tiào Jiǎo Luò Dì ・腾空摆莲360°＋起跳脚落地 **324B+8**(0.1)	・打ち鳴らした脚 (踏み切り足) が単独で着地しない ・着地した足が移動したり、跳んだりする

		Téng Kōng Fēi Jiǎo+Tí Xī Dú Lì ・腾空飞脚+提膝独立 **312A+3**(0.1) Xuàn Fēng Jiǎo 180°, 360°, 450°(F)/540°+Tí Xī Dú Lì ・旋风脚180°, 360°, 450°(女子)/540°+提膝独立 **323A+3**(0.1)**, 323B+3**(0.2)**, 323C+3**(0.25) Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 450°(F)/540°+Tí Xī Dú Lì ・腾空摆莲360°, 450°(女子)/540°+提膝独立 **324B+3**(0.2)**, 324C+3**(0.25)	・打ち鳴らした脚が単独で着地しない ・着地した脚が移動したり、跳んだりする ・提膝する脚が床に触れる
		Téng Kōng Bǎi Lián 360°, 450°(F)/540°+Diē Chā ・腾空摆莲360°, 450°(女子)/540°+跌叉 **324B+5**(0.15)**, 324C+5**(0.2)	・両脚が同時に着地しない ・脚が移動する ・附加して支える ・倒れる
	静+動 連接	Qián Jǔ Tuǐ Dī Shì Píng Héng + Dēng Jiǎo / Fēn Jiǎo ・前举腿低势平衡+蹬脚/分脚 **143A+212A**(0.1) Hòu Chā Tuǐ LDī Shì Píng Héng+ Dēng Jiǎo / Fēn Jiǎo ・后插腿低势平衡+蹬脚/分脚 **143B+212A**(0.15)	・連接の過程で上体が揺れる ・提膝する脚が床に触れる ・提膝のとき、足が移動したり、跳んだりする
	静＋静 連接	Dī Shì Qián Dēng Cǎi Jiǎo Píng Héng+Zhuǎn Tǐ 180°+Tí Xī Dú Lì ・低势前蹬踩脚平衡+转体180°+成提膝独立 **142A+3**(0.1) Qián Jǔ Tuǐ Dī Shì Píng Héng+Zhuǎn Tǐ 180°+Tí Xī Dú Lì ・前举腿低势平衡+转体 180°+成提膝独立 **143A+3**(0.1) Hòu Chā Tuǐ Dī Shì Píng Héng+ Bǎi Lián Jiǎo Zhuǎn Tǐ 180°+ Tí Xī Dú Lì ・后插腿低势平衡+摆莲脚转体180°+成提膝独立 **143B+3**(0.15)	・連接の過程で上体が揺れる ・回転の度数が不足している ・連接の過程で膝が水平の高さより低くなる ・提膝する脚が床に触れる ・提膝のとき、足が移動したり、跳んだりする

4.3.2 太極拳、太極剣、太極扇に関する難度動作の規定

4.3.2.1 回転度数の規定

・回転する跳躍で跌叉につなげる場合、打ち鳴らす脚の踏み切り時のつま先と踵を結んだ線と、着地したときの伸ばした脚の軸線とが作る角度によって回転の度数を計算する。

・回転する跳躍で、片足で着地する場合、踏み切る脚と着地する脚のそれぞれつま先と踵を結んだ線が作る角度によって回転度数を計算する。

・静+静連接は、支え脚の回転前と回転後のつま先と踵を結んだ線が作る角度によって回転度数を計算する。

4.3.2.2 助走の規定

・312A+324B、312A+324Cは、最初の跳躍で両脚が着地したら、そのまま直接踏み切る。

・静+静連接では、足を踏み出してはならない。

4.3.2.3 連接難度の規定

・連接難度動作は表中の規定の内容を選ばなければならない。

・312A+324B (或いは324C)の着地は、必ず趺叉につなげること (左脚が前) 。

・趺叉への連接難度は、1套路に1回しか入れられない。

・太極器械套路において動＋静連接難度の連接動作完成時、器械の方法を明確にしなければならない (太極拳主要動作の中から選ぶ)

4.3.2.4 判定に関する規定

・難度動作が成功しなかった場合、その前・後の連接難度は認定されない。

・実施された連接動作が登録されたものと異なる場合、動作難度・連接難度とも認定されない。

・片脚で着地する場合、打ち鳴らす脚 (踏み切り脚) と着地する脚が同じであること。

・平衡動作と動＋静連接の連接動作は、必ず静止状態にならなければならない。

・１組の動＋静連接難度を行った後は、必ず2つ以上の完全な技術動作を完成させた後に、次の難度動作につなげることができる。